

ト云ヘ凡前ノ限外ノ書狀ノ他ハ一切之ヲ集メ之ヲ受取
リ之ヲ傳送配達スベカラズ若シ之ヲ犯ス者アラバ第十
四條第十七條ニ照ラシテ處分スベキ事

第一 諸陸運會社定飛脚會社或ハ問屋及ヒ飛脚渡世馬
車會社牛馬會社等一切陸運ヲ以テ業トスル者其身ハ
勿論召使又ハ他方ノ取扱人ニ至ルマデ乘車荷車牛馬
人夫ヲ論セズ御者別當口取口附ノ者ニ限ラヌ一切是
レニ關スル者

第二 諸蒸氣船風帆船押送船西洋形日本形ニ拘ハラズ
別シテ飛脚船早船渡海等ト唱ヘ旅客ヲ載セテ航スル
モノ及ヒ期日ヲ定メテ出船スルモノ總テ皇國環海ノ
濱岸ニ沿ヒ皇國內ノ諸港諸灣ノ間ニ往來スル諸船ノ

持主船長役員水火夫ヨリ從僕取扱人ニ至ルマデ一切
之レニ關スルモノ

第三 蒸氣帆前、艦、棹、挽船ニ限ラズ皇國內ノ湖水川溝ヲ
往來スル諸船ノ持主及ヒ水夫等ニ至ルマデ一切之レ
ニ關スルモノ

第四 蒸氣車馬車蒸氣船早船等ニ乘テ屢諸方ニ往來ス
ベキ稼業ノモノ

第十九條 同上 驛遞局長ヨリ郵便物ノ運送ヲ約定シタル水
陸運輸稼業ノ者ト云ヘ凡郵便切手コレナキ信書ヲ運送
或ハ配達スルニ於テハ第十四第十七兩條ニ照シテ處分
スベキ事

第二十條 明治六年五月一日制定郵便切手及ヒ七がき封皮
同 七年一月一日改正

ハ諸郵便局并官許ヲ受ケテ大書ノ郵便切手賣下所ノ看板ヲ掲グル家ノ外一切賣ルコトヲ禁ズ之ヲ犯シテ賣ルモノハ百圓以内ノ罰金ニ處シ其賣リタル品并代金且賣ラントスルノ品ヲモ可取上事

第二十一條 同上 郵便局并官許ヲ得テ看板ヲ掲グル家ニアラザル者ヨリ私ニ同種ノ切手及ヒヒガキ封皮三枚以上ヲ買フコトヲ禁ズ之ヲ犯シテ買フ者ハ貳拾圓以内ノ罰金ニ處シ其買受タル品ヲモ可取上事

第二十二條 同上 一度用ヒタル郵便切手ヒガキ封皮帶紙及ヒ拂濟ノ証印等ヲ消シタル墨ヲ洗ヒ或ハ之ヲ削リ取り再度用ヒシ者ハ六拾圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第二十三條 同上 郵便切手ヒガキ封皮及ヒ拂濟ノ証印等ヲ消シタル墨ヲ洗ヒ或ハ之ヲ削リ取り再度用ヒシ者ハ六拾圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

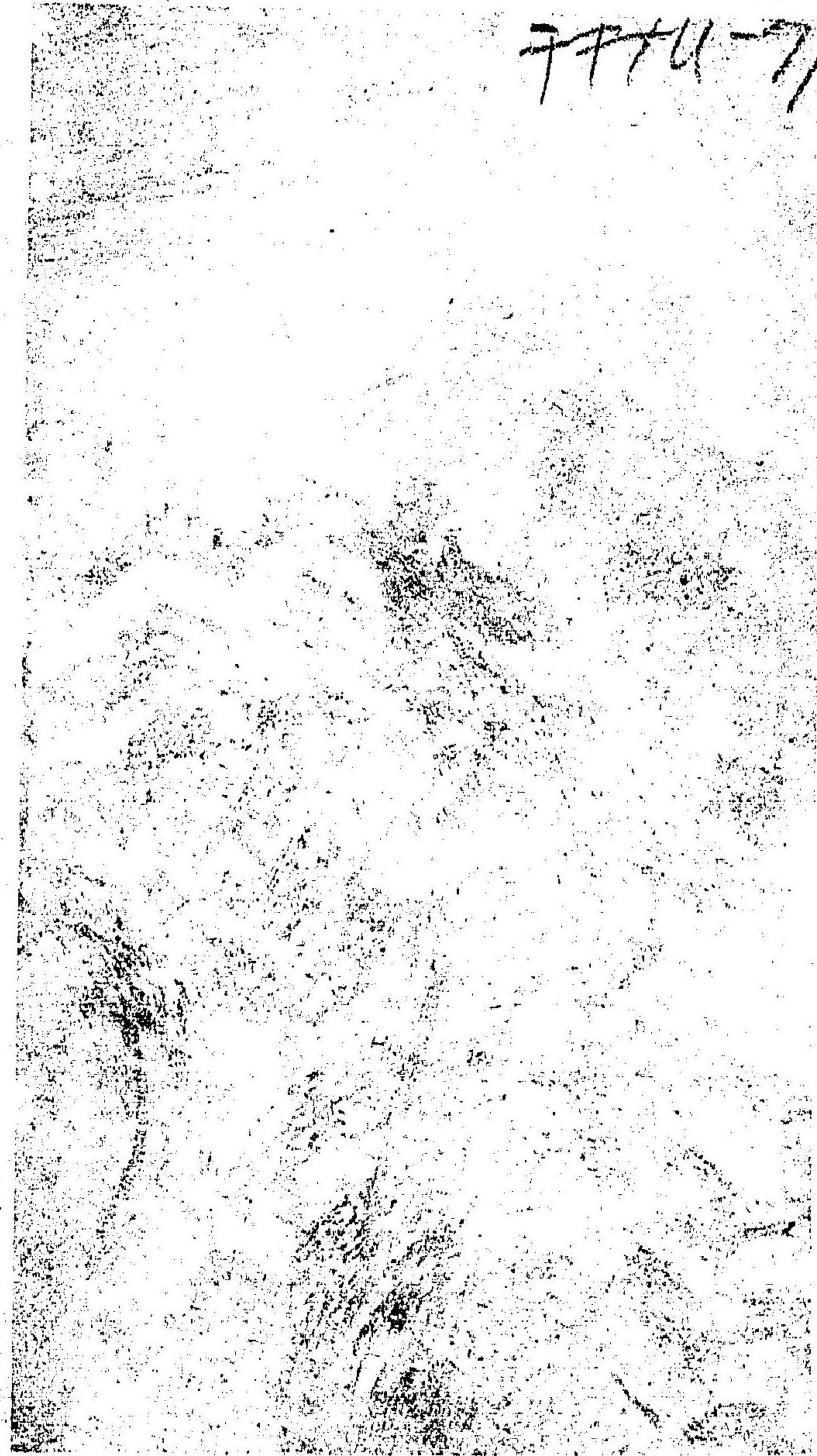
スル者ハ九拾圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

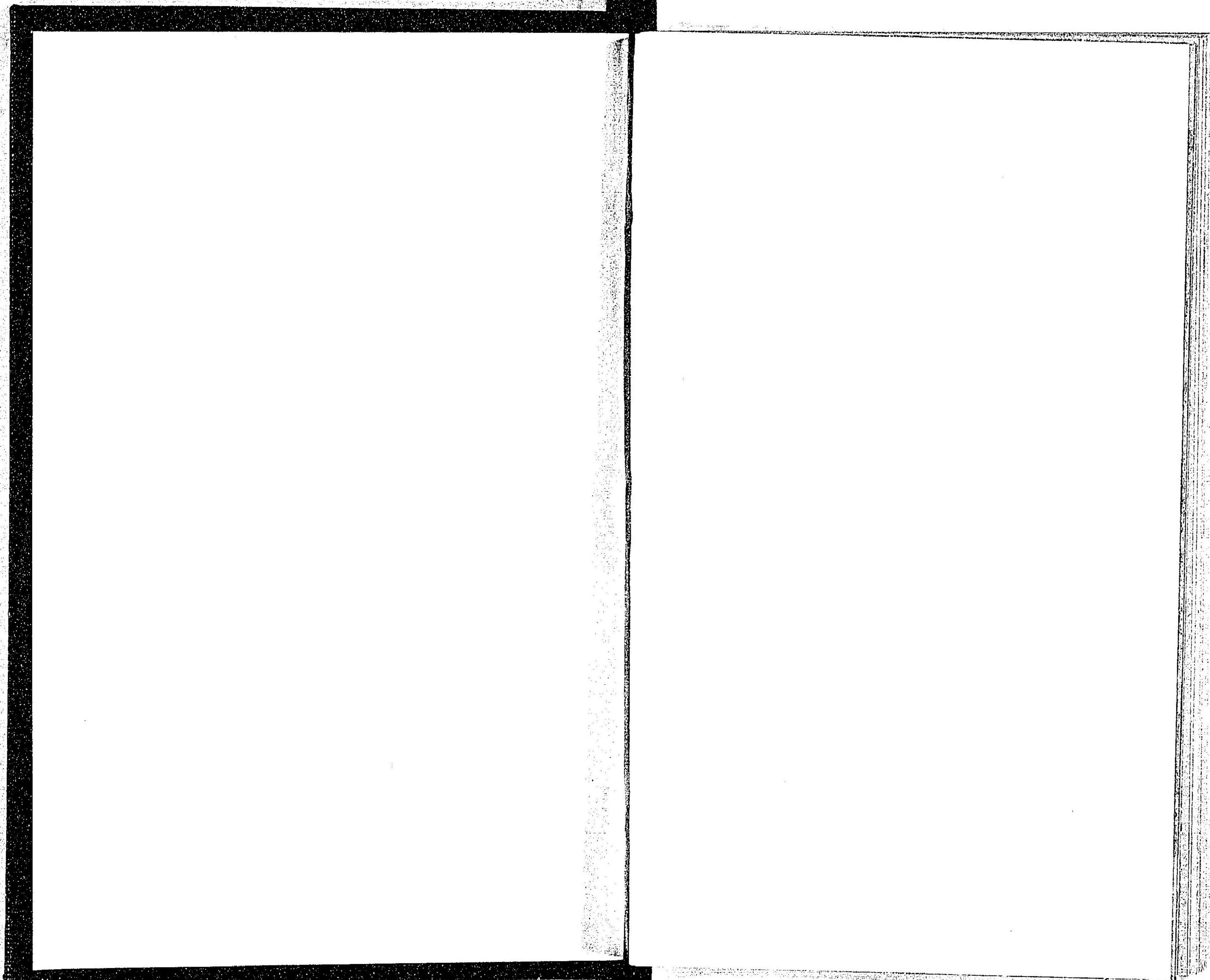
第二十四條 明治六年五月郵便局ヲ勤ムル者私書ヲ公書トナシテ往復シ且郵便切手コレナキ書狀等ヲ私ニ取扱フ者ハ百圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

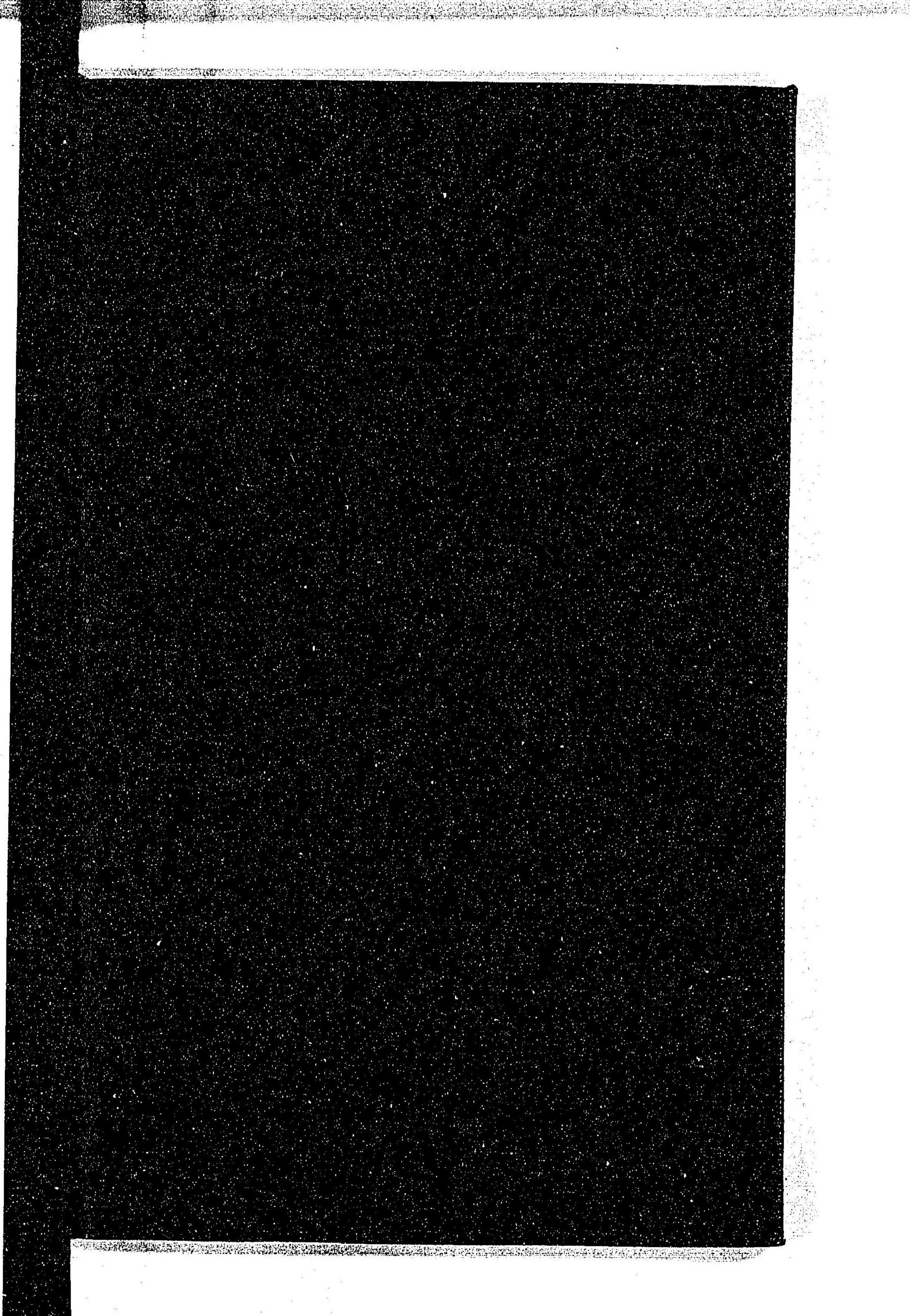
第二十五條 明治七年一月郵便先拂稅及ヒ不足稅ヲ最初配達ノ時ヲ除キ郵便局ヨリ受取メ爲メ使フ送ル五度ヲ過キテ猶拂ヒ納メサル者ハ貳拾圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

第二十六條 同上 氏名類似セル郵便物ヲ開封セシキハ速ニ其類似スル所以ヲ記シ之ヲ其近傍ノ郵便局ニ申牒シ郵便局ハ之ヲ驛遞局長ニ申牒スヘシ若シ之レヲ申牒セス或ハ之レヲ投棄ニ附スル者ハ貳拾圓以内ノ罰金ニ處スベキ事

774-71







禁電子式複写

038180-000-2

CZ-492-07

日本帝国郵便規則及罰則

長尾 景弼/訓

M10

BBY-0284

